第2期西ノ島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

人の集う島へ～わくわく・らくらく、子育てしたくなる島づくり～を目指して

日本の人口は、２００８年に1億2，８０８万人のピークを迎え、このまま推移すると２０６０ 年に約８，７００万人まで減少するとされています。

西ノ島町でも、人口は引き続き減少傾向にあり、進学・就職を理由とした若者世代の流出、未婚率の上昇が続いています。このまま推移すれば、２０３５年に総人口は２，０００人を切り、２０６０年には１，０００人台にまで減少するとの推測もあり、更なる少子高齢化の進行や税収の落ち込み、基幹産業の衰退など様々な影響が懸念されます。

国は、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的として、まち・ひと・しごと創生法を公布・施行しました。

西ノ島町では平成27年に、国が示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等を踏まえた、西ノ島町まち・ひと・しごと総合戦略を策定しました。

そして、令和２年、これまでの総合戦略の取組内容や、実績を踏まえた検証結果を基に新たに推計する人口ビジョンや基本目標、ＫＰＩ（重要業績評価指標）、取組むべき推進施策を検討し、次のステップにあたる第２期西ノ島町まち・ひと・しごと総合戦略を策定しました。

今後、西ノ島町では、平成25年度に策定した西ノ島町総合振興計画とともに第２期総合戦略に基づき、「人の集う島へ」の実現をめざし、西ノ島町ならではの取り組みを行っていきます。

※「第２期西ノ島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「西ノ島町人口ビジョン」の全文は西ノ島町ホームページに掲載しています。